

42 巻 4 月号が皆様の御手元に届く頃には、全国各地から満開の花の便りが聞かれるようになっていていると思います。

しかし 75 歳以上の高齢者にとって、今年の 4 月は、春爛漫とは喜べない「後期高齢者医療制度」が新たに始まります。この新制度の創設にあたって、国は、高齢化の進展によって有病率も高くなり、医療費の増大が見込まれるため、若い現役世代と高齢者との医療負担の公平化と医療財政の安定化を図り、より良い医療体制を目指そうとしています。このため、75 歳以上の方は新医療制度と介護保険制度の両方の保険料を負担することになりますが、果たして狙い通りの医療サービスを保障できるのでしょうか。臨床現場では、「もっと理学療法を受けたい」という患者の願いも診療報酬上の日数上限によって困難になったり、また介護保険下の諸施設に入所したくても待機の方が多く、家族・本人が必死になって入所施設を探している場面に遭遇します。まさに現実の医療環境では、「リハビリ難民」、「介護難民」さらには「救急難民」、「出産難民」、「小児難民」などの現象が社会問題化しています。憲法第 25 条では「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と同時に「国の生存権保障の義務」を謳っていることを、国は忘れてはいけません。医療費亡国論にそった医療費抑制政策を見直し、国民の健やかな生活を保つための政策に転換することこそが、第 25 条の理念を具現化することにつながるのではないかと考えます。

そして、国民の保健、医療、福祉の向上に寄与するミッションを担っている理学療法士は、効果的な理学療法を提供することが基本となります。そこで本特集では「認知運動療法の臨床アプローチと効果」を取り上げました。脳卒中片麻痺、骨関節疾患、脳性麻痺に対する認知運動療法の方略とその理論的根拠について高橋氏、千鳥氏、人見氏から、また高次脳機能障害、幻肢痛を有する両下肢切断、脳性麻痺の新生児に対する具体的な認知運動療法のアプローチとその経過について岩崎氏、小林氏、浅野氏から論じていただきました。

さて、今月号から新連載企画「なぜ学ぶのか」、「臨床実習サブノート」の 2 本がスタートします。「なぜ学ぶのか」では、入学して間もない学生が、ともすれば受身的な学習スタイルに陥りやすい基礎系科目について、各科目が将来どのように役立ち、なぜ必要なのかについて「知」の先達からメッセージをいただきます。第 1 回目は「解剖学」で、生きている人体を理解する過程の面白さをわかりやすく解説されています。また「臨床実習サブノート」では、初めての臨床実習場面を想定して、学生が急性期脳血管障害患者を担当した際の評価ポイントを 6 段階に分けて解説されており、学生のみならず若手理学療法士にとっても役立つ内容となっています。

会員数約 5 万人のリーダーとして、東奔西走されている日本理学療法士協会の半田一登会長へのインタビュー記事には、理学療法界の輝ける未来への熱い想いが込められています。是非、ご一読ください。

(鶴見隆正)

理学療法ジャーナル

(第 42 巻 第 4 号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2008 年 4 月 15 日発行(毎月 1 回 15 日発行)

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5704

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

(担当: 松田・吉永・山崎)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

{ 2008 年年ぎめ予約購読料 20,880 円 }
(全 12 号、配送料弊社負担)

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
奈 良 勲
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 峯 三 郎
岡 本 慎 哉
金 谷 さとみ
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
澤 田 三津子
関 屋 昇
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
仲 貴 子
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里